

# 消費動向調査

## 「(山形・秋田)県内家計の消費動向調査」(概要)

- 1 調査の目的 山形・秋田の県民の暮らし向きについての現状と見通しを時系列的にとらえるとともに、具体的な商品やサービスに対する支出動向を把握することにより、景気判断等の基礎資料を得ることを目的とする。
- 2 調査の方法 専属モニターを対象とした郵送およびインターネットによるアンケート調査
- 3 調査の対象者 山形・秋田の県内に在住するサラリーマン(勤労者)世帯(世帯人数2名以上)
- 4 調査期間 平成30年12月1日(土)～14日(金)

山形 モニター世帯数：249世帯  
有効回答数：239世帯(回答率：96.0%)  
秋田 モニター世帯数：249世帯  
有効回答数：238世帯(回答率：95.6%)

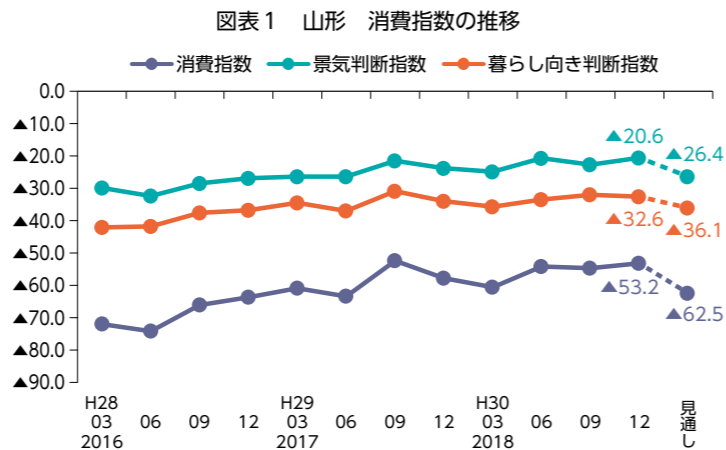
### 消費指数

#### 第50回 山形県内家計の消費動向調査

～消費マインドは若干改善ながら、先行きは依然として慎重姿勢～

消費指数は▲53.2(前期比1.5ポイント上昇)と若干改善となった。内訳は、景気判断指数が▲20.6(前期比2.1ポイント上昇)、暮らし向き判断指数が▲32.6(前期比0.6ポイント下落)と、景気判断指数が2期ぶりに改善した一方、暮らし向き判断指数は3期ぶりに若干悪化した。

今後の見通しは、消費指数が▲62.5と悪化の見込みとなっている。内訳は景気判断指数が▲26.4、暮らし向き判断指数が▲36.1といずれも悪化が見込まれている。

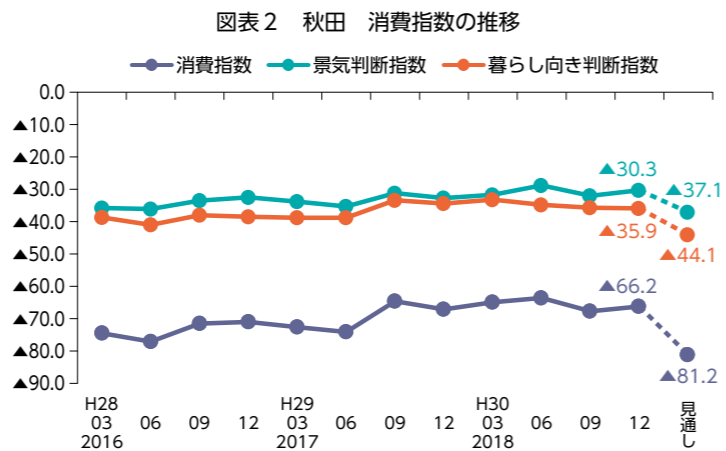


#### 第30回 秋田県内家計の消費動向調査

～消費マインドは2期連続で改善するも、先行きは引き続き慎重な見通し～

消費指数は▲66.2(前期比1.5ポイント上昇)と2期ぶりに改善した。内訳をみると、景気判断指数が▲30.3(前期比1.7ポイント上昇)と2期ぶりの改善となった一方、暮らし向き判断指数は▲35.9(前期比0.2ポイント下落)と小幅ながら3期連続の悪化となった。

今後の見通しは、消費指数が▲81.2と大幅な悪化が見込まれている。内訳は、景気判断指数が▲37.1、暮らし向き判断指数が▲44.1と、ともに悪化が見込まれている。世帯収入の改善が遅れるなか、物価上昇による家計の負担感は依然強い状況が続いており、先行きについては引き続き慎重な見通しとなっている。



#### 【指数の見方】

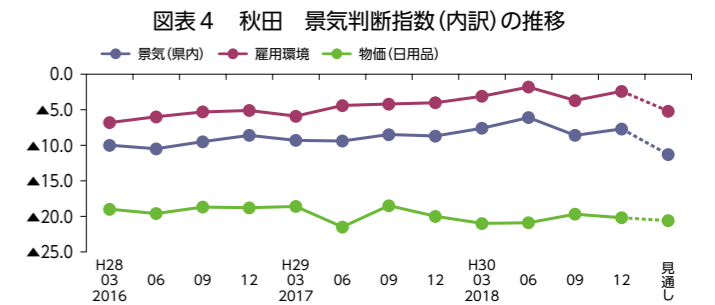
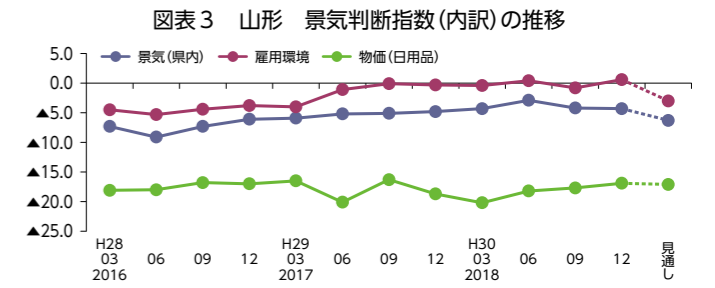
消費指数は景気判断指数(景気・雇用環境・物価の3項目で構成)と暮らし向き判断指数(世帯収入・保有資産・お金の使い方・暮らしのゆとりの4項目で構成)の合計からなり、値は200～▲200の範囲をとります。指数がプラスであれば家計の消費マインドは高揚していると判断します。一方、指数がマイナスであれば、消費マインドは低迷していると判断します。

### 景気と暮らし向き

#### 景気判断

山形の景気判断指数は▲20.6(前期比2.1ポイント上昇)と2期ぶりに改善した。景気判断指数を構成する3つの指数については、「景気(県内)」がほぼ横ばいとなった一方、「雇用環境」と「物価(日用品)」が改善となった。

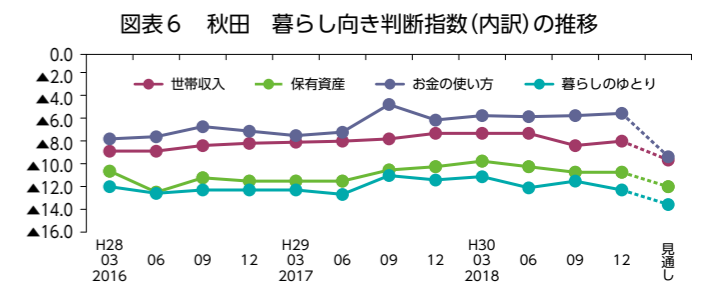
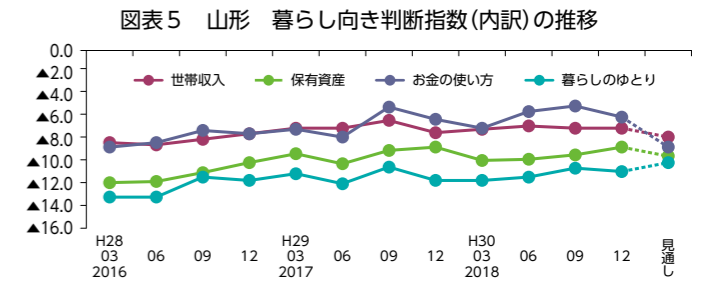
秋田の景気判断指数は▲30.3(前期比1.7ポイント上昇)と2期ぶりに改善した。指数を構成する個別指数は「景気(県内)」と「雇用環境」がともに2期ぶりに改善した一方、「物価(日用品)」は小幅ながら3期ぶりの悪化となった。



#### 暮らし向き判断

山形の暮らし向き判断指数は▲32.6(前期比0.6ポイント下落)と3期ぶりに若干悪化となった。暮らし向き判断指数を構成する4つの指数については、「世帯収入」が横ばい、「保有資産」が若干改善した一方、「お金の使い方」「暮らしのゆとり」が若干悪化となった。

秋田の暮らし向き判断指数は▲35.9(前期比0.2ポイント下落)と小幅ながら3期連続で悪化した。指数を構成する個別指数でみると、「世帯収入」と「お金の使い方」が小幅ながら改善した一方、「保有資産」は横ばい、「暮らしのゆとり」は悪化となった。



#### 家計収支

山形の収入面では可処分所得(収入の手取り額)が441千円と前年同期比で1千円の減少となり、支出面では支出合計が403千円と前年同期比で2千円の減少となった。

この結果、平均消費性向(家計支出/可処分所得)は91.3%と、前年同期に比べて0.4ポイントの低下となった。

秋田の収入面では可処分所得(収入の手取り額)が395千円と前年同期比で65千円の減少となり、支出面では支出合計が397千円と前年同期比で19千円の減少となった。

この結果、平均消費性向(家計支出/可処分所得)は100.6%と、前年同期に比べて10.1ポイントの上昇となった。

